

第42回 Tansax セミナー

種子島宇宙芸術祭

～「宇宙」を使った 地域活性化 への取り組み～

令和7年(2025年) 8月 1日
ワーク・ライフ変革推進室 参事
(種子島宇宙芸術祭実行委員会 アドバイザー)
大塚 成志

※ プレイベント2年目 星空イルミネーション
写真提供: 森脇裕之多摩美術大学教授

自己紹介

おおつか せいじ
大塚 成志



- ◆1992年 慶應義塾大学商学部卒業後、宇宙開発事業団（NASDA）に入社
- ◆2003年に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が発足
- ◆調査国際部、企画部、宇宙輸送技術部門事業推進部、広報部などを経て、2025年3月まで宇宙探査イノベーションハブ ハブマネージャ。
現在、ワーク・ライフ変革推進室及び総務部に所属

東京、筑波宇宙センター、種子島宇宙センター、相模原キャンパスで勤務経験あり。
2011年に森脇多摩美大准教授(現教授)らとともに種子島宇宙芸術祭を立上げ、現在も宇宙芸術祭実行委員会のアドバイザー。（JAXA業務の一環として委嘱を受けている）



種子島 「宇宙に一番近い島」

「世界で最も美しいロケット発射場」と呼ばれており、島内各所では宇宙を身近に感じることができる。



2011年 構想始動！

- ・2010年1月1日 種子島宇宙センターに赴任
- ・南種子町役場、観光協会、商工会、地元の皆さんと交流する中で...
- ・地域活性化に向けて思案(試行錯誤)の日々
 - ✓ モデルロケットコンテスト...鳥人間コンテストやロボットコンテストとの違いは？
- ・2011年 宇宙芸術コミュニティ beyond [Space + Art and Design] との邂逅
 - ✓ 水野素子さんから「ロケット残部品を使ってアート作品を制作し、宇宙センター所長賞を授与できないか？」という相談
 - ✓ TV会議の席上で、「宇宙芸術を使って地域活性化ができないか？」と提案
⇒ 「種子島を宇宙芸術の聖地に！」
 - ✓ その年の種子島宇宙センター特別公開日にbeyondメンバー来島、行政・商工会議所・観光協会と引き合わせ
 - ✓ 翌年2月の鹿児島県主催のビジネスフォーラムで、種子島観光協会会長、beyondメンバーから構想を発表



Beyond [Space + Art and Design]とは、宇宙芸術及びデザインの創造による新しい世界観の構築を目的としたコミュニティ。地球外からの視点を研究の基盤とする。宇宙において人類が種として存続して行くために、芸術、科学、工学の融合をとおして「宇宙、地球、生命」の在り方を広く社会へ提唱する。

種子島宇宙芸術祭 始まりの始まり



最初期の立上げメンバー (beyond関係者) (順不同、敬称略)
森脇裕之(多摩美大准教授(現:教授))、逢坂卓郎(筑波大芸術系教授(現名誉教授))、
森山朋絵(東京都現代美術館)、田中ゆり(現CERN(欧州素粒子物理学研究所)客員研究員)、
大塚成志(JAXA)、水野素子(JAXA:退職)、潮田知彦(JAXA:退職)、ほか数名

種子島宇宙芸術祭 始まりの始まり

2/17 (金) 地域密着型
12:40~14:30 ビジネス
会場：種子島宇宙センター
宇宙科学技術館内シアター
鹿児島県鹿儿郡南種子町
大字基合字館洋
定員：70名
入場：無料

2012
in 種子島

種子島宇宙センター
宇宙科学技術館内シアター

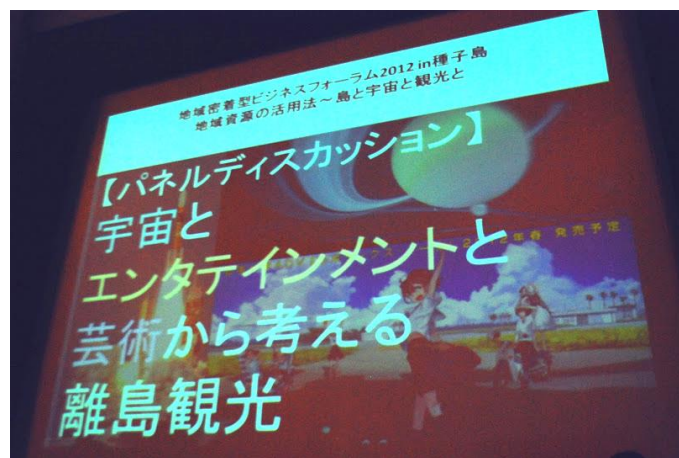
基調講演 「ゲームと現実からみる近未来の種子島」
講師：株式会社MAGES 代表取締役 志倉千代丸氏

パネルディスカッション 「宇宙とエンタテインメントと芸術から考える離島観光」
パネラー：株式会社MAGES 代表取締役 志倉千代丸氏
種子島観光協会会長 村尾弘行氏
多摩技術大学情報デザイン学科准教授 森脇昭之氏
JAXA種子島宇宙センター管理課長 大塚成志氏
コーディネーター：鹿児島天文観測会 研究員 Ten-Lab 理事長 山田正司氏

「地域密着型ビジネス」サポートセンターのご案内
地域密着型ビジネスに関する個別相談会

主催：鹿児島県
後援：(財)かごしま産業支援センター 種子島観光協会
特別協力：宇宙航空研究開発機構

お問い合わせ：ネイチャリング・プロジェクト 鹿児島市東千石町14-2 (担当：藤井 / 原田)
TEL 099-219-5730 (月~金10時~17時) FAX 099-219-5729
URL <http://www.naturring.org/> MAIL consulting@naturring.org



第3種郵便物認可

ゲーム、芸術、JAXA、観光...

「宇宙」でスクラム

種子島活性化へ討論

種子島を舞台にしたゲームソフトを開発した会社、「宇宙芸術祭」開催をめざす研究者グループに加え、宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センター、地元観光協会がスクラムを組み、島の活性化につなげる。17日、同センターで4者によるパネル討論があり、相乗効果に期待する声が相次ぎ、今後の連携を確認した。

ゲーム名は「ロボティクス・ノーツ」。人気シリーズの第3弾で、今春発売される。高校のロボット研究部員らが巨大ロボットを製作していくストーリーで、宇宙センターのほか島の観光名所も登場する。開発したメジス（東京）の志倉千代丸社長は「（関連の）コミック連載が始まった。小説、テレビアニメ、パネリ討論に参加した（左から）大塚成志、森脇昭之、村尾弘行、志倉千代丸の4氏」南種子町の種子島宇宙センター

メカも進め、作品とともに島の活性化につながれば」と話した。作品のファンが「聖地巡礼」と称して現地を訪ねる例が多く、各地の経済効果や地元への取り組みも紹介された。種子島観光協会の村尾弘行会長は「島の入り込み客は減少している。ファンへのいろんな仕掛けをしたい」と意欲を見せた。「宇宙」をテーマにする芸術を研究するグループ「フレミッド」は、3月末まで同センターで作品パネリを展示している。メンバーの一人、多摩美術大学の森脇昭之准教授は、島を宇宙芸術の聖地ととらえた「種子島宇宙芸術祭」を開催したい意向を示し、地元協力を呼びかけた。

センターの大塚成志管理課長は、来島者の増減が宇宙の普及啓発活動に影響すると指摘。「芸術祭など新しい取り組みに積極的にかわりたい」と話した。パネリ討論は、地域密着型ビジネスフォーラム主催の一環。約50人が会場した。

私も登壇しました。

プレイベント1年目(FY2012)「宇宙を平和にするロケット」



① こども宇宙芸術講座：「今しか聞けない宇宙センターのひみつ」&絵画ワークショップ



プレイベント1年目(FY2012)「宇宙を平和にするロケット」

②「宇宙を平和にするロケットをつくろう」公開制作ワークショップ



**宇宙を平和にする
ロケットをつくろう
公開制作ワークショップ**

期日：平成24年7月30日(月)～8月4日(土)
時間：午前10時～午後8時
(8月2日(水)は午後6時まで)
場所：南種子町中央公民館屋内運動場
(旧南種子高校体育館)

応募要項 参加費無料

【募集対象】
・南種子町立南種子小学校1年生～5年生、南種子町立南種子中学校1年生～2年生、南種子町立南種子高等学校1年生～2年生
・南種子町立南種子小学校1年生～5年生、南種子町立南種子中学校1年生～2年生、南種子町立南種子高等学校1年生～2年生
・南種子町立南種子小学校1年生～5年生、南種子町立南種子中学校1年生～2年生、南種子町立南種子高等学校1年生～2年生

【募集期間】
7月20日(金)午後8時まで

【募集場所】
南種子町立南種子小学校
〒799-3441 南種子町
TEL 0893-25-1111
E-mail: kankou@city-nanzosho.jp

【お問い合わせ】
南種子町立南種子小学校
TEL 0893-25-1111
E-mail: kankou@city-nanzosho.jp

プレイベント1年目(FY2012)「宇宙を平和にするロケット」

③ 「宇宙を平和にするロケット」点灯式&屋外展示



**「宇宙を平和にする
ロケット」点灯式**
「第34回南種子町ロケット祭」にて

期日 | 8月5日(日)
時間 | 午後7時30分～午後7時50分 場所 | 前之峯グラウンド

主催: 種子島宇宙芸術祭推進協議会
協力: 南種子町、南種子町商工会、種子島観光協会、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、
宇宙芸術研究コミュニティ beyond (space + art + design)

「宇宙を平和にするロケット」をテーマに、南種子町の小学生たちが描いた絵のアイデアをもとにつくられた、8体の光るオブジェをロケット祭の点灯式でお披露目します。その後は宇宙ヶ丘公園に移設して、8月7日(火)～31日(金)まで夜間にライトアップして公開します。(点灯時間: 午後7時～午後10時)

お問い合わせ: 南種子町観光課 Tel: 0997-26-1111 (内線 261) Fax: 0997-26-6065
E-mail: kankou2@town.minamitanegane.lg.jp

子ども
宇宙芸術

プレイベント1年目(FY2012)「宇宙を平和にするロケット」

④「宇宙を平和にするロケット2012」種子島児童絵画展

於：横浜高速鉄道サブウェイギャラリーM（みなとみらい駅構内）



プレイベント2年目(FY2013)「星空イルミネーション」



① こども宇宙芸術：「星空イルミネーション—宇宙はみんなできている」制作体験講座(種子島&横浜)



種子島での製作体験のほか、三菱重工業(株)CSR部門(末松博之さん他)の協力を得て、三菱みなとみらい科学館でも制作体験講座を実施！

ボランティアスタッフ(小学39年生)の作品

プレイベント2年目(FY2013)「星空イルミネーション」

② 南種子町ロケット祭での「星空モニュメント」のお披露目



プレイベント2年目(FY2013)「星空イルミネーション」

③ ボランティアスタッフによる移設作業



プレイベント2年目(FY2013)「星空イルミネーション」

④「星空イルミネーション」作品公開展示



種子島宇宙芸術祭プレイベント
Tanegashima Space Art Festival

星空 イルミネーション

—宇宙はみんなできている—

この夏、宇宙センターの広場に
星空が登場します。

日程 | 2013年 8月12日(月)～9月16日(月・祝) 時間:日没後～22時
場所 | 種子島宇宙センター内芝生広場

[主 催] 種子島宇宙芸術祭推進協議会
[協 力] 南種子町、南種子町商工会、種子島観光協会、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、
宇宙芸術研究コミュニティbeyond [space + art + design]
[協 賛] 三菱重工業株式会社

お問い合わせ > 南種子町役場観光課 ☎ 0997-26-1111(内線262) ☎ 0997-26-6065
✉ kankou6@town.minamitanetane.lg.jp

プレイベント3年目(FY2014)～ アーティスト・イン・レジデンス

2014 アーティスト&作品一覧

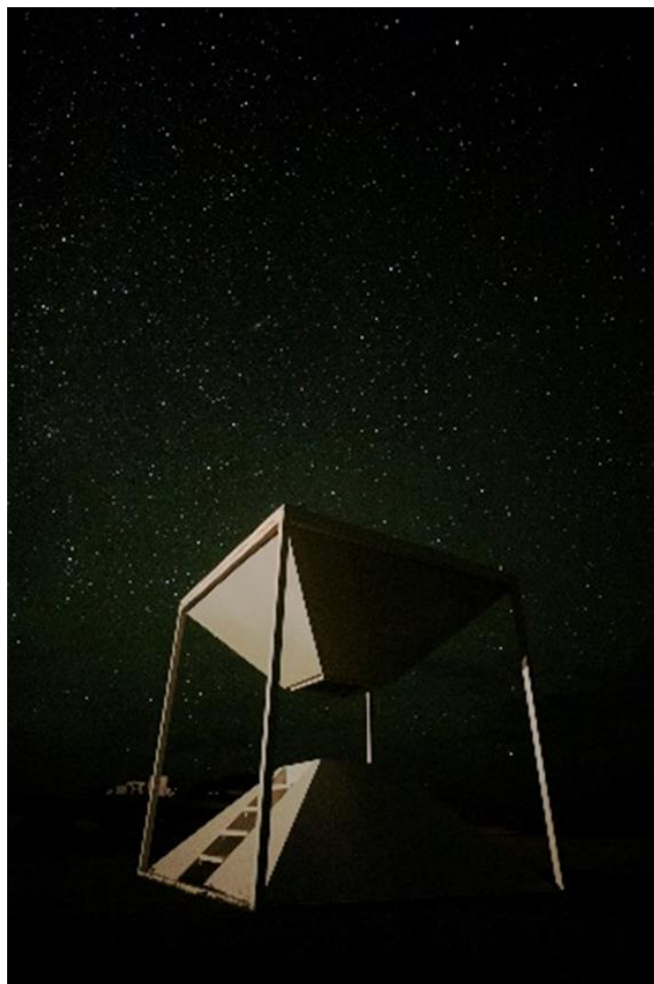
- ・開発好明 （作品名:「ロケット開発No.1」）
- ・関根真紀 （作品名:「百億の昼と千億の夜」）
- ・成田敬十筑波大学創造的復興プロジェクト （作品名:「営みのなかの芸術」）
- ・John L Tran
（作品名「Universal Directions」、「Wish You Were Here」）
- ・宇宙芸術研究部会(桜井龍、下山肇、高橋綾)
（作品名:「ウユニバース—離島の多元宇宙—」）

アートディレクター:森脇裕之 （作品として「ペットスターロケット」を制作展示）

キュレーション:田中ゆり

プレイベント3年目 (FY2014) ~ アーティスト・イン・レジデンス

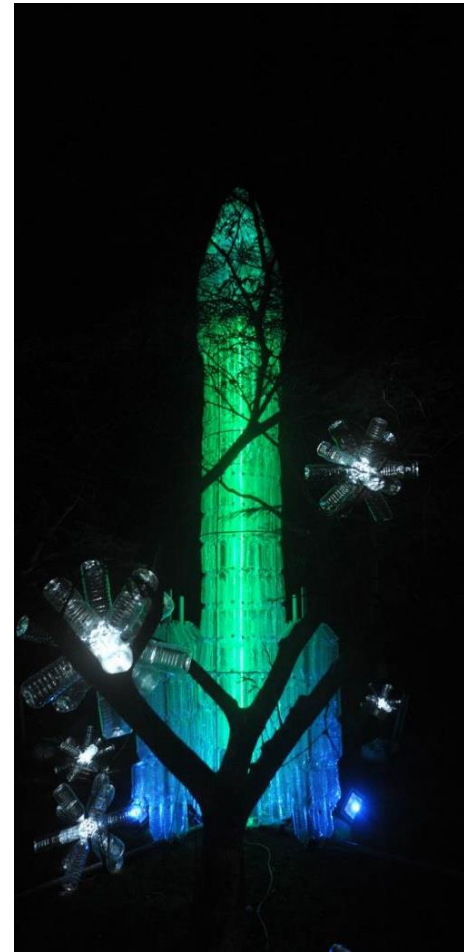
宇宙芸術研究部会(桜井龍、下山肇、高橋綾)
「ユニバース—離島の多元宇宙—」



開発好明
「ロケット開発No.1」



森脇裕之
「ペットスターロケット」(右)



プレイベント3年目 (FY2014) ~ アーティスト・イン・レジデンス



関根真紀 (「百億の昼と千億の夜」)



成田敬+筑波大学創造的復興プロジェクト (「営みのなかの芸術」)



John L Tran 「Universal Directions」(上)

「Wish You Were Here」(下)



プレイベント3年目 (FY2014) 東京では・・・



M0+
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO
OF ART
東京都現代美術館

開催中・これからの展覧会 これまでの展覧会

[ご利用案内](#) [展覧会](#) [収蔵作品](#) [美術図書](#)



ミッション【宇宙×芸術】

ーコスモロジーを超えて

2014年06月07日(土)～08月31日(日)

立上げメンバーの一人、森山朋絵さん(東京都現代美術館)の協力を得て、種子島宇宙芸術祭の構想と取り組みを紹介。

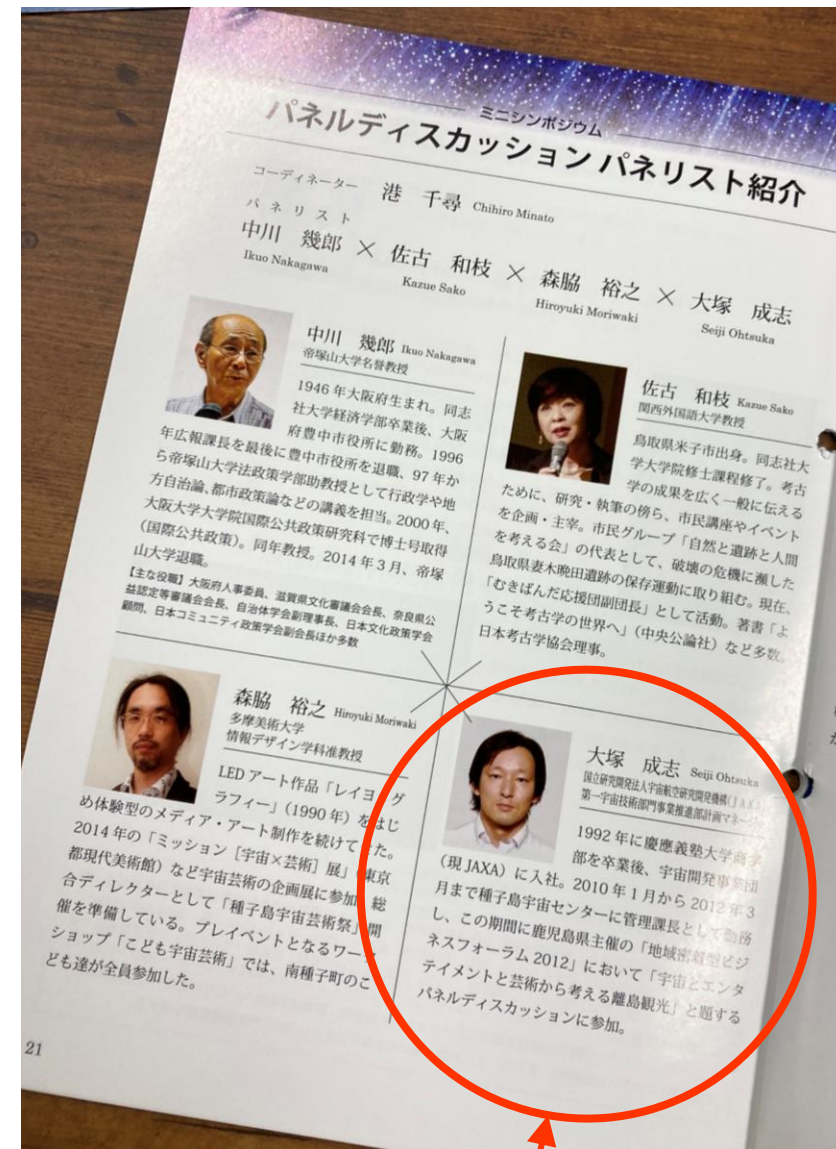
プレイベント4年目(FY2015) アーティスト・イン・レジデンス×国民文化祭



広田遺跡ミュージアム

国民文化祭が鹿児島県で開催されることを受け、南種子町（学芸員：石堂和博さん他）の協力を得て、「黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展」を開催

<https://onnagumi.jp/annakonna03/dai270kai.html>



私も登壇

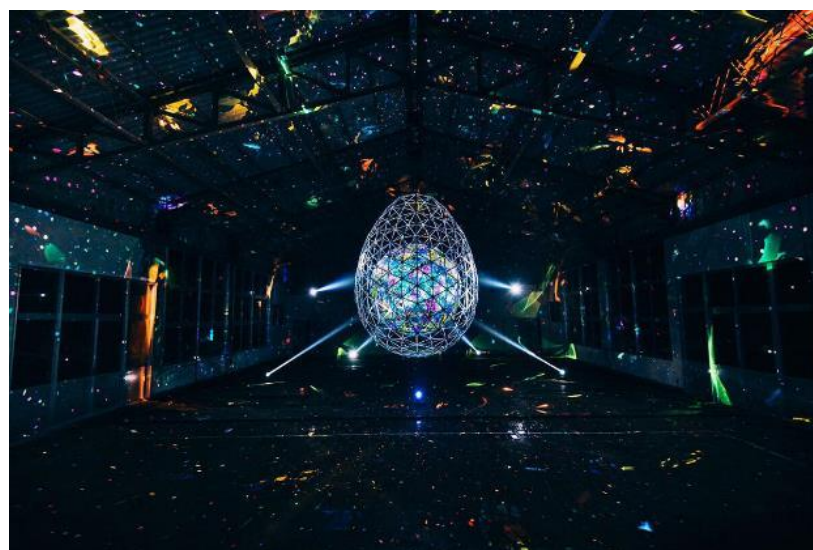
FY2017 遂に種子島宇宙芸術祭(本祭)が実現！！



椿昇（「mammalian」）



大平貴之（「星の洞窟」）



ミラーボール（「はじまりはじまり」）



中村哲也（「ペイントフェアリング 5SH改型」）

FY2017 遂に種子島宇宙芸術祭(本祭)が実現！！



種子島宇宙芸術祭推進メンバーの一人である小田健児さん（電通 宇宙ラボ初代代表）の尽力で「電通報」の1面と2面で宇宙芸術祭が特集されました。

FY2017 遂に種子島宇宙芸術祭(本祭)が実現！！

種子島宇宙芸術祭(2017年8月5日～11月12日)による経済波及効果: 21億900万円

※ 尚美学園大学総合政策学部ライフマネジメント学科 専任講師 江頭満正氏による算出

概要	摘要	金額
来場者消費額		
	宿泊交通費	6億3000万円
	レジャー費	1億5500万円
	飲食費	1億4300万円
	みやげ代	7050万円
主催者消費		
	事業費	2850万円
	関係者経費	430万円
直接経済消費額		17億7600万円

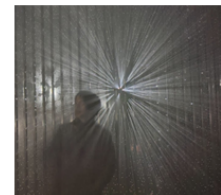
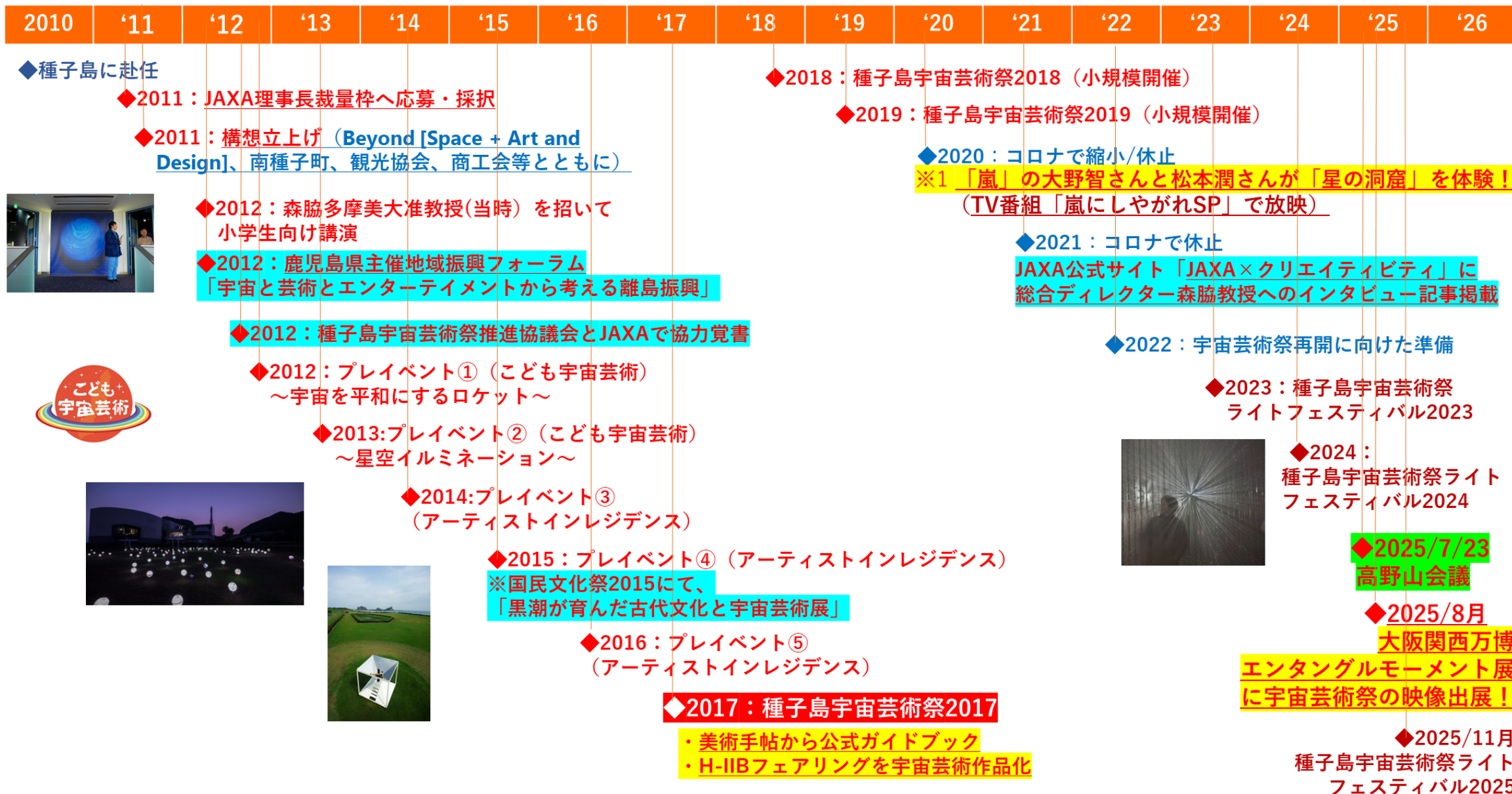
生産誘発額・就業効果

指標	全国	鹿児島県
1.1 経済波及効果 (1+2+3)	21億 900万円	11億1500万円
1) 直接効果	9億6500万円	6億8000万円
2) 間接1次波及効果	7億1000万円	2億7600万円
3) 間接2次波及効果	4億3300万円	1億5400万円
1.2 粗付加価値誘発額	11億3600万円	6億2500万円
1.3 就業効果	52,277人・日	30,781人・日
2. 税収考課		
国税	1億1200万円	3000万円
都道府県税	3200万円	1140万円
市町村税	2200万円	930万円

算出根拠

観客チケット／販売数（主催者：種子島宇宙芸術祭実行委員会）、観客旅費宿泊費／種子島観光入込調査（種子島宇宙芸術祭実行委員会）、事業費／（主催者：種子島宇宙芸術祭実行委員会）、スタッフ旅費・経費／（種子島宇宙芸術祭実行委員会）、生産波及／MICEの経済波及効果測定のためのモデルを使用し、2005年版全国産業連関表に基づき算出

種子島宇宙芸術祭 構想立ち上げから現在までの流れ



FY2023～ コロナによる一時休止を経て、ライトフェスティバル開催へ！



- ◆参加アーティスト数・・・14名
- ◆展示作品数・・・20作品
- ◆南種子町の上中地区(繁華街)、種子島宇宙センター、千座(ちくら)の岩屋の3カ所に分散して作品を設置
- ◆夜のバスツアーあり。
(バスツアー参加者は特典で+1作品を見学可能)

種子島宇宙芸術祭 ライトフェスティバル2024



未知を愛そう。

- 主催：種子島宇宙芸術祭実行委員会
- 共済：南種子町、南種子町教育委員会、南種子町商工会、南種子町観光協会南種子支部、南種子町定住促進実行委員会、種子島大学実行委員会
- 協力：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- 協賛：鹿島建設株式会社、五洋建設株式会社、株式会社南星
- 期間：2024年11月1日(金)～12月8日(日)
土日祝のみ開催 ※ロケット打ち上げと重なった場合、荒天の場合は入場制限あり
- 会場：種子島宇宙センター
南種子町市街地
浜田海水浴場(千座の岩屋)

会場1：種子島宇宙センターの芝生エリアおよび宇宙科学技術館



会場2: 浜田海水浴場・千座の岩屋



会場3: 南種子町上中タウンエリア 学校跡地、お寺、店舗跡地など



ORB / Hideki Yoshimoto

千田泰広



千田泰広



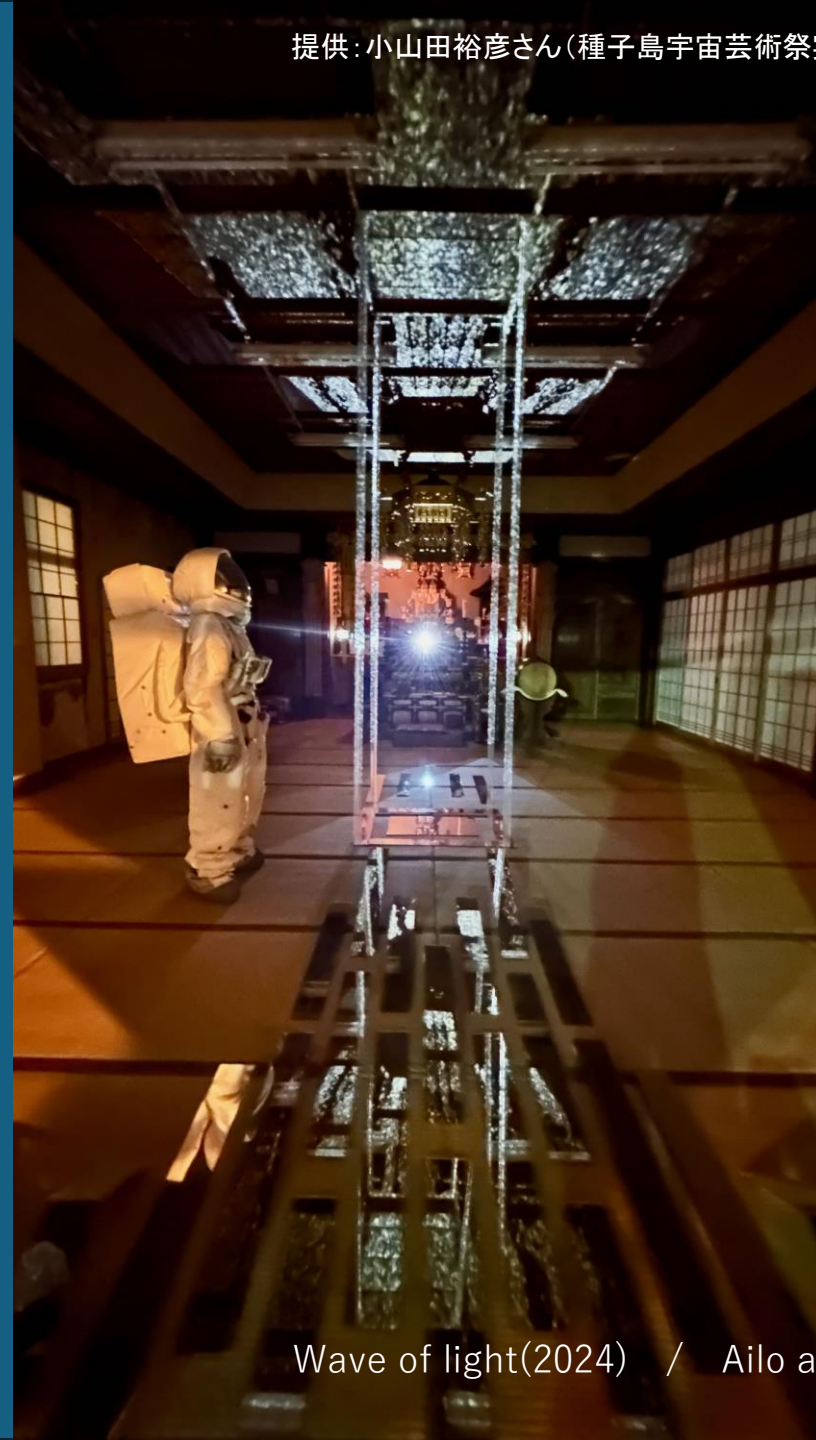
千田泰広





Satelles vibes(2024) / 山下コウセゝ・今福弘樹

提供: 小山田裕彦さん(種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター)



Wave of light(2024) / Ailo atelier (フランス)



提供: 小山田裕彦さん(種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター)

DAWN / Hideki Yoshimoto



The Waves of this Generation(2024) / Anni Lauka (フィンランド)





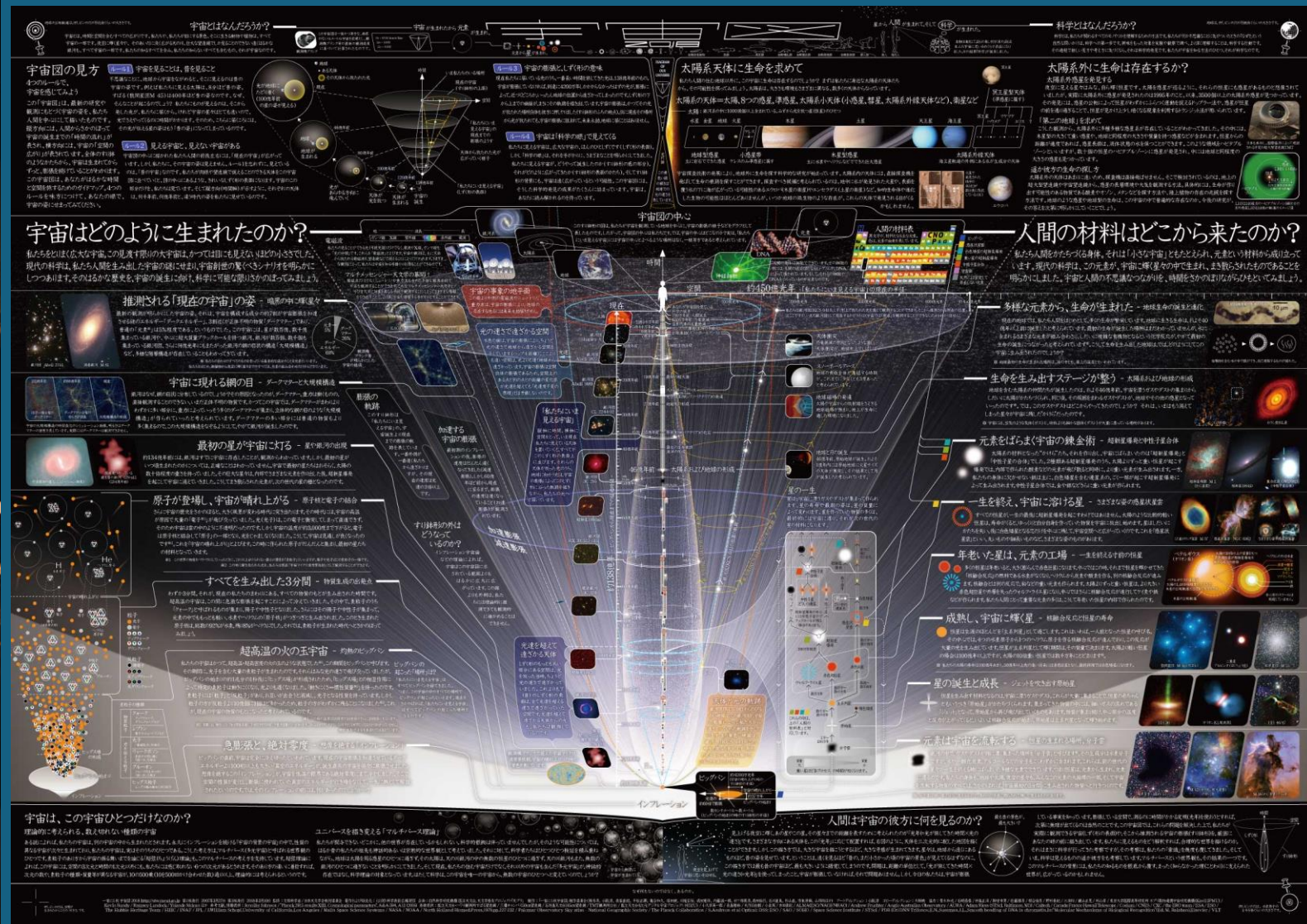
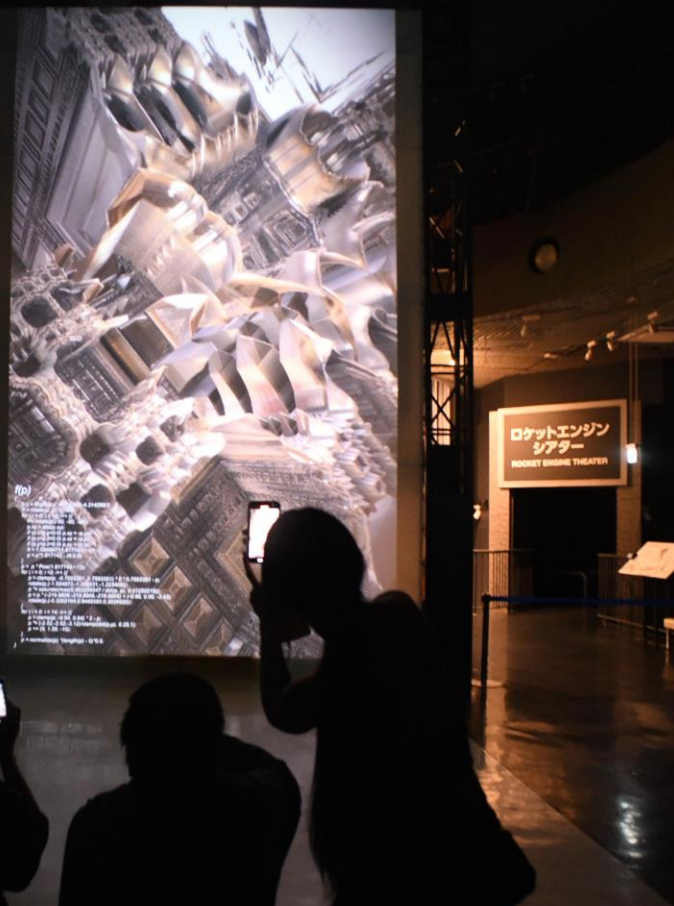


$f(p)$

```
{  
    float4 vd=float4(p,0.0);  
    for( i = 1; i < 2; n++) {  
        vd=(vd.x*vd.x-dot(vd,  
        if(dot(vd,vd)>10) b  
    }  
    p = vd.xyz;  
    for( i = 0; i < 9; i++)  
        p = clamp(p, -0.  
        rotate(p, (-0.54  
    p *= saturate(n  
    p = p * (-3.163  
    rotate(p, (-1.29  
    p.xy = -p.yx;  
    p.xz = -p.zx;  
    p.zy = -p.yz;  
    = Modc(p.y, 2  
    rotate(p, (0, 0  
    i = 0; i < 10; i  
    rotate(p, (-9  
    v = abs(p.xy  
    x+p.y<0.0)  
    x+p.z<0.0)  
    v+p.z<0.0)  
    (1.0-1)  
    -3.8235/10
```

$f(p)$ (2024) / 小阪淳

提供: 小山田裕彦さん(種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター)





提供：小山田裕彦さん（種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター）



Æther (2023/2024) / KAHŌ ISHIKAWA



Yangbans

From: Korea



言葉の宇宙



黒川隆介

提供: 小山田裕彦さん(種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター)



阿部菜々子



モニターの前にお立ちください！

ズームイン顔/ 佐々木 遊太 (JAXA)

映像で見てみましょう・・・ (Analemma(2024) / Chida Yasuhiro / NIL)

撮影：杉山絵里香さん



映像で見てみましょう・・・ (Brocken5(2024) / Chida Yasuhiro)

撮影: 杉山絵里香さん



大阪・関西万博2025 エンタングル・モーメント展へも映像出展！

開催日時

- 2025年08月14日(木) 13:00 ~ 20:00 (開場 13:00)
- 2025年08月15日(金) ~ 2025年08月19日(火) 10:00 ~ 20:00 (開場 10:00)
- 2025年08月20日(水) 10:00 ~ 18:00 (開場 10:00)

開催場所

EXPOメッセ

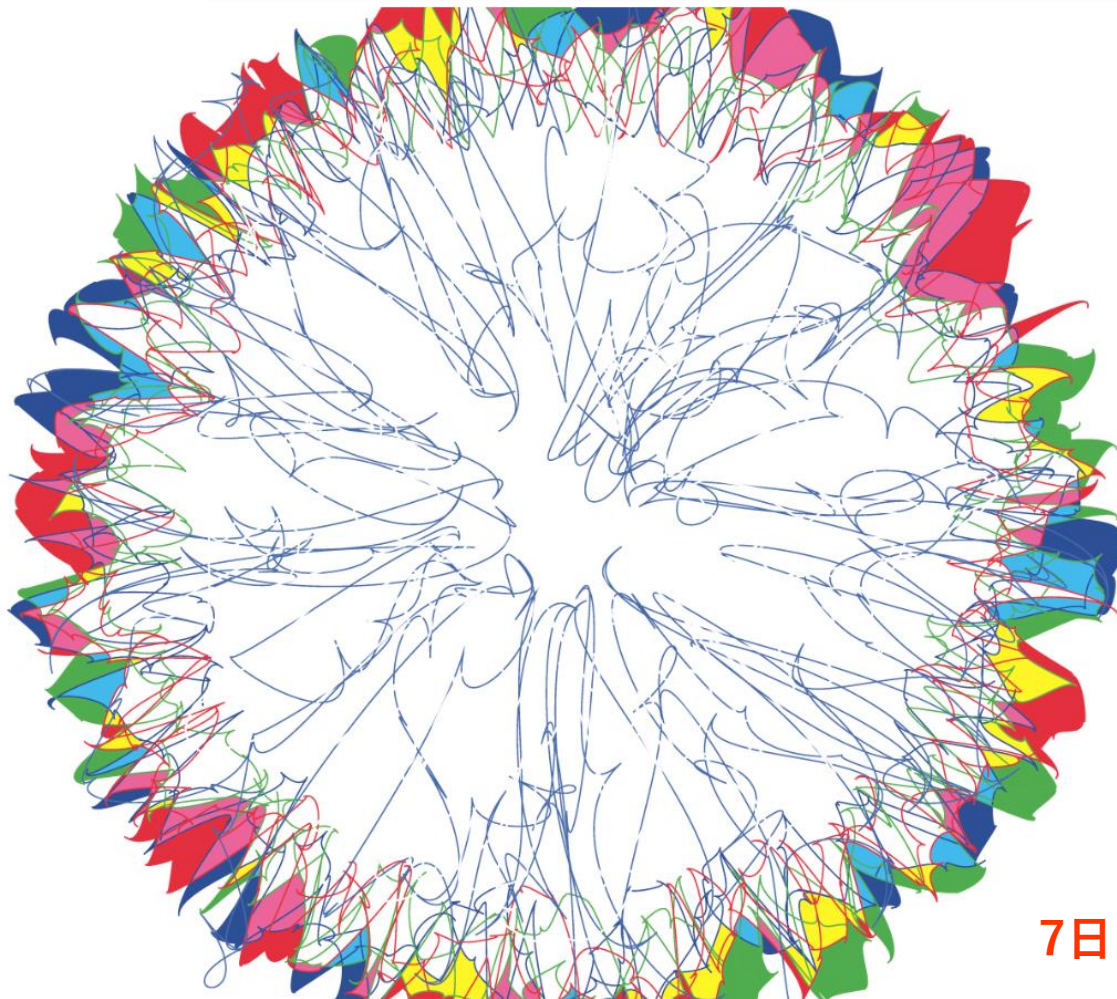


エンタングル・モーメント

[量子・海・宇宙] × 芸術

entangle moment

[quantum | earth | universe] × art



7日間の来場者数： 6万3千人！！

大阪・関西万博2025 エンタングル・モーメント展へも映像出展！

宇宙の日に宣言しました。

1992年9月12日

国際宇宙年/毛利飛行士宇宙へ

宣言書

あなたと宇宙を近くする。

宇宙のまち “みなみたね”

SPACE TOWN 南種子

鉄砲伝来の地としてその歴史を刻んできた種子島。

種子島宇宙センターが立地するこの南種子町は、

新しいものを受け入れ、育み、広げていく力を持っています。

そしてこれからは、

宇宙に触れ、学び、共創する場として進化を続けます。

触れる。

種子島宇宙センター、種子島宇宙芸術祭など宇宙技術や宇宙芸術に直接触れる機会を作ります。

街中に散りばめられた宇宙エッセンスを発信し、訪れる人々が宇宙に触れる町として観光を強化します。

学ぶ。

宇宙留学生のとりくみ、宇宙学校プロジェクトをはじめ、これからの時代を生き抜くための学びの場が、ここにはあります。

宇宙知識の学びはもちろん、未知への探究心や宇宙規模の視野を持つことの大切さを学びます。

さらに、町としても宇宙のまち奨学金を通じて学びを応援します。

共創する。

宇宙観光や宇宙産業の拠点として、新たなパートナーを募集し、共に未来を創造します。南種子町に魅力を感じた人々が、移住しやすいようサポートを行い、共に新しい町のかたちを築いていきます。

令和6年9月12日

南種子町長

小園 裕康

触れる

種子島宇宙芸術祭の実施



学ぶ

専門家による
教育プログラムの実施
(サマーキャンプ)



知的好奇心研究所 CURIOCITY たねがしま「サマーキャンプ」

共創する

企業との連携事業の実施
(日テレ、日経、JALなど)



日本テレビ: 宇宙エンタメプロジェクト「月面ワンダー」

種子島宇宙芸術祭 × 地域ブランド強化

01-1 行政主体による企業連携の強化

実行委員会はこれまで、「NIKKEI 宇宙プロジェクト（日本経済新聞グループ）」や「宇宙エンタメプロジェクト（日本テレビ）」といった、宇宙をテーマとする事業を展開する企業との連携を深めてまいりました。

しかし、任意団体主体の連携には一定の限界があるのも事実です。今後は、行政が主体となって企業との連携を推進することにより、官民一体となった強固な体制の構築が期待できます。特に、行政との連携協定や包括的な枠組みの整備は、企業側にとっても参画の判断材料となり、より積極的な動きを引き出す起点となります。

さらに、ビジネス界でも注目が高まる宇宙分野において、種子島宇宙芸術祭と南種子町は、文化的アプローチを切り口に独自の存在感を確立することによって、宇宙分野における独自のポジションを構築できます。

01-2 関連団体との協力体制の構築

「SPACE TOWN 南種子」が掲げる基本理念は、町内で活動するすべての団体にとって、共通の理解として共有されるべき重要な指針です。

さらに、それぞれの団体が取り組む活動を相互に共有し、連携・協力する体制を築くことで、地域ブランドの構築に大きな相乗効果をもたらすことが期待されます。

関連団体例

- ①種子島宇宙芸術祭実行委員会
- ②宇宙サイエンス LAB
- ③南種子町宇宙留学
- ④南種子町商工会
- ⑤種子島観光協会南種子支部
- ⑥南種子町定住促進実行委員会 など

01-3 芸術家によるまちづくり推進

芸術祭を通じて生まれた連携は、企業に限られたものではありません。世界で活躍する芸術家たちとのつながりは、南種子町にとって極めて貴重な知的資産です。

彼らが持つ美的感性や独自の視点は、これからのまちづくりにおいて大きな可能性を秘めています。その知見を地域に活かさない手はありません。

芸術祭をハブとして、芸術家の思考や創造性をまちづくりに反映できる環境や仕組みを整備することを、今後の重要な取り組みのひとつとして提案します。

種子島宇宙芸術祭 × 長期滞在できる まちづくり

提供：小山田裕彦さん（種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター）

02-1 アート作品の常設

観光客が年間を通して長期滞在できる環境を整備するための取り組みの一つとして、アート作品の常設展示の拡充を進めます。

ただし、南種子町特有の課題である台風などの自然環境を考慮し、常設が難しい作品については、再設置や再利用が可能な構造とし、芸術祭以外の時期にも柔軟に展示できる体制を整えます。

これにより、季節を問わずアートと出会える仕組みを構築し、通年型の観光誘致につなげていきます。

本年度は、千田さんには再設置が可能な作品の制作を、吉本さんには常設展示を前提とした作品の制作をそれぞれ依頼しています。



旧南種子高校校舎壁面に常設展示「ORB」



宇宙科学技術館内に常設展示「宇宙図」

02-2 宇宙ヶ丘公園をアートの森に

宇宙ヶ丘公園を「SPACE TOWN 南種子」の中核拠点として再整備することを提案します。

本公園を「スペースアートの森」として位置づけ、01-1 で挙げた企業や01-2 で示した関連団体の事業を行う場とすることで、地域ブランドの象徴となる空間を創出し、公園全体を新たな観光拠点として再整備することによって、観光客の滞在時間の延長を図れます。

02-3 観光案内所の設置

観光客の長期滞在を促進するためには、町内を快適に移動・周遊してもらうための情報提供体制が不可欠です。その中核を担うのが、地域の観光情報を一元的に発信する「観光案内所」の存在です。

そこで、種子島宇宙芸術祭のインフォメーションセンターを拠点に、観光案内機能を統合することを提案します。観光客に対して観光情報を提供することで、町内回遊や宿泊を促し、地域全体の滞在価値を高めることが可能になります。

また、芸術祭の期間外にも常設的に活用できる体制を整えれば、通年型の観光拠点としても機能し、観光まちづくりの基盤強化につながります。

種子島宇宙芸術祭

×

長期滞在できる まちづくり

■小口 良平
自転車冒険家&自転車旅行研究家
(自転車まちづくりサイクルアドバイザー)



サイクルアドバイザーの小口氏に現地調査を依頼したところ、「雑草を刈るだけでもサイクリングロードとしての活用が可能」とのご意見をいただきました。これを受け、海沿いの風景を楽しめる「ビーチサイドサイクリングロード」の整備を提案いたします。手軽な整備から始められることにより、実現性の高い観光資源として期待されます。

02-4 サイクリングコースの整備

これまで私たちは、サイクルツーリズムをライトフェスティバルに並ぶ主要な誘客コンテンツのひとつと位置づけ、その推進に取り組んでまいりました。

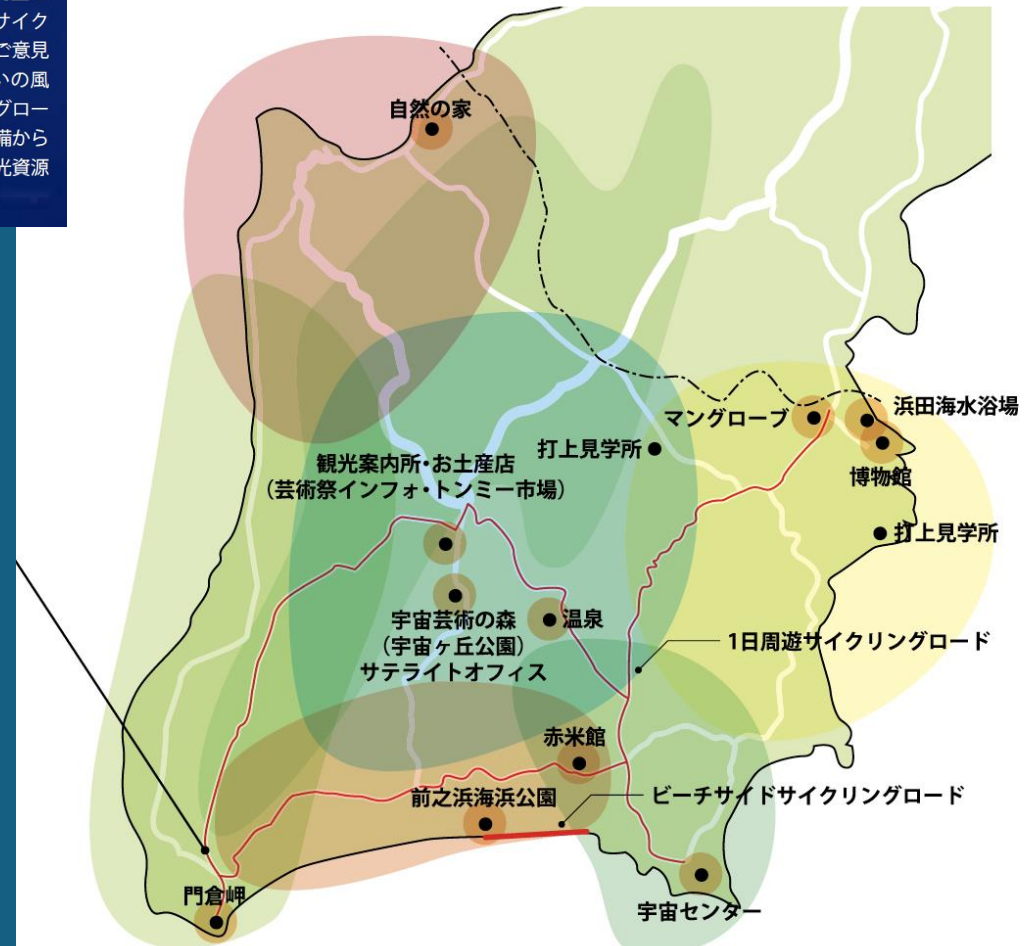
サイクリストの受け入れを本格的に進めるためには、サイクリングコースをはじめとするハード面の整備が不可欠です。ソフト事業については実行委員会にて対応可能ですが、ハード整備については行政の役割であると認識しております。

02-5 たねがしまチャリンジの運用

「たねがしまチャリンジ」とは、2024年度に実行委員会が公募した、南種子町内におけるサイクルイベントの愛称です。この名称には、「チャレンジ」と「チャリンコ（自転車）」を組み合わせ、多くの方々がチャレンジ精神を持って楽しく参加していただきたいという願いが込められています。2026年度からは、この「たねがしまチャリンジ」を冠したサイクリングイベントを本格的に展開し、地域の魅力を体感できる新たな観光資源として育ててまいります。

02-6 観光向けゾーニングの再構築

南種子町に既存する自然環境や施設、景観資源を最大限に活かしながら、観光向けのゾーニングを再構築することで、「SPACE TOWN 南種子」の魅力をより効果的かつ戦略的に発信することが可能となります。ゾーニングの見直しにより、観光動線の明確化やテーマ別エリアの設定が可能となり、来訪者にとってわかりやすく魅力的な体験設計が実現します。





たねがしまチャリンジ

提供：小山田裕彦さん（種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター）

種子島宇宙芸術祭

×

人材育成/教育

宇宙留学制度の高質化
各所でSTEAM教育の実践
オンライン講座
国際的な人材交流

提供：小山田裕彦さん（種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター）



知的好奇心研究所【キュリオシティたねがしま】

CURI CITY

TANEGASHIMA

好奇心を大切に、自分らしくいられる場所
Be curious! Be yourself!

CURI CITY（キュリオシティ）とは、“好奇心”を意味する「CURIOSITY」と、“町”を意味する「CITY」を組み合わせで生まれた造語です。この言葉には、「好奇心があふれる町」「知的探究心が育つ場所」という想いが込められています。CURI CITYは、子どもたちが自らの興味を探索し、学びを通じて世界と出会い、未来を切り拓く力を育むことを目的とした、種子島宇宙芸術祭独自の教育プログラムの総称です。私たちはこのプログラムを通じて、子どもたち一人ひとりの内にある「なぜ?」「どうして?」という問いに寄り添いながら、宇宙・自然・芸術など南種子町独自の地域資源を活かした幅広いテーマに触れられる学びの場を提供します。



Download

サマーキャンプ マングローブでいかだ下り



サマーキャンプ 宇宙センターでペットボトルロケット大会



提供：小山田裕彦さん（種子島宇宙芸術祭実行委員会 総合ディレクター）

種子島中央高校 みらいデザイン科 “未来のつくり方”





宇宙はあの『ジャスコ釧路店』より近い！？ 種子島にある案内板が話題「車で行けそう」「ロマンありすぎて涙出る」

2024/06/02 06:00

タウンネット

とある交差点で撮影された写真が、SNS上を騒然とさせている。

それは、宇宙への案内板だった。

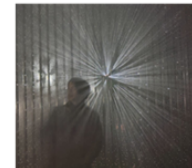
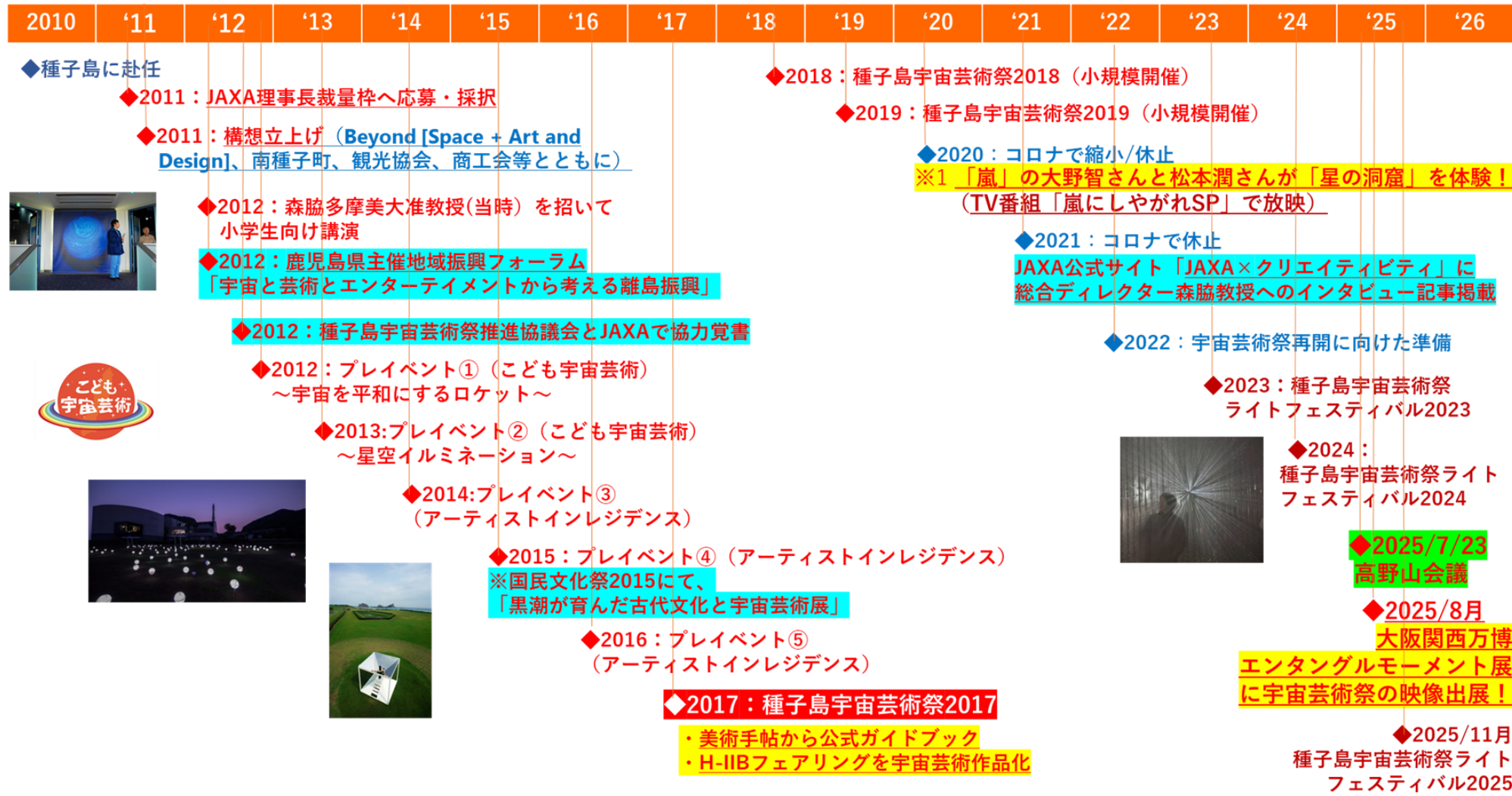


宇宙はあの『ジャスコ釧路店』より近い！？
種子島にある案内板が話題「車で行けそう」
「ロマンありすぎて涙出る」

(1タウンネット)



種子島宇宙芸術祭 構想立ち上げから現在までの流れ（再掲）



南種子町、商工会、教育委員会、観光協会、多数の参加アーティスト、ボランティアスタッフ、協賛企業、JAXA種子島宇宙センター、実行委員会の皆さんの連携協力により、現在まで続いています。皆様も是非ご参加ください！！



ご清聴ありがとうございました！！